

書評・新刊紹介

E. Coppejans, A. Prathep, K. Lewmanomont, K. Hayashizaki, O. De Clerck, F. Leliaert & R. Terada 著

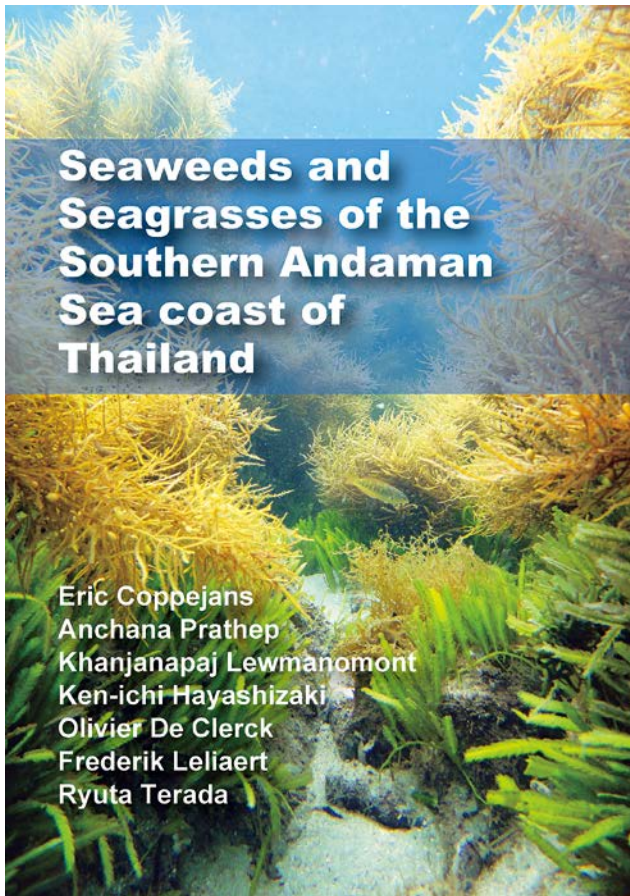
Seaweeds and Seagrasses of the Southern Andaman Sea Coast of Thailand

本書は Ghent 大学 (ベルギー), Prince of Songkla 大学, Kasetsart 大学 (ともにタイ), 鹿児島大学, 北里大学のグループによるタイのアンダマン海南部の海藻・海草図鑑である。2010 年に出版された *Seaweeds of Mu Ko Tha Lae Thai (SE Thailand): Methodologies and field guide to the dominant*

species (藻類 第 59 巻第 1 号参照) に続き, タイにおける 5 冊目の海藻図鑑に当たる。著者らは, 東京大学大気海洋研究所の国際共同研究「東南アジアにおける沿岸海洋学の研究教育ネットワーク構築 (日本学術振興会アジア研究教育拠点事業)」の活動として, 2013 年と 2014 にタイのアンダマン海沿岸南部に面するタイのクラビ県, トラン県, サトゥーン県内各地で海藻・海草類の植生調査とワークショップを実施した。本書の刊行に際しては, 撮影された写真と形態, 標本番号, 分子系統解析の結果を基に種同定と記載を行い, 鹿児島大学大学院連合農学研究科の経費で鹿児島大学総合研究博物館から刊行された。

本書にはこれらの沿岸に生育する 123 種海藻と 11 種海草について, 生態写真と共に, 各種の形態, 生態, 分布についての詳細な記載がある。一部の種については種の形態の特徴を良く著わした顕微鏡写真も添えられており, 図鑑として大変充実した内容となっている。本書はインド洋及び東南アジアの海藻の名前を付けるために必携の図鑑であることは間違いないが, 掲載されている海藻の内, 75 種は日本の亜熱帯域から暖温帯域にも分布している種類であり, 海草は全て日本に分布している種類である。沖縄県や南西諸島などの海藻・海草類の同定や生態を学ぶ上でも本書はお勧めの一冊である。

本書の著者である Coppejans 教授や Lewmanomont 教授は長年にわたり藻類分類学に携わっておられる第一人者だが, 高齢にもかかわらず率先してフィールド調査を指揮し, 自らも海に潜って採集に尽力されている。また, ワorkshop では, タイの学生に観察法や同定のポイントについて熱心に指導され, 学生にとって藻類学を学ぶ貴重な機会となったという。なお, 本書に掲載されている写真のほとんどは, 藻類学会会員の寺田竜太教授 (鹿児島大学) によって撮影されたものだが, 編集, 校正, 割り付け, 装丁等もすべて同氏による DTP であるとのことである。希望者には鹿児島大学大学院連合農学研究科で無料配布しており, PDF 版もオンラインでダウンロード可能になる予定とのことである。



The Kagoshima University Museum, 21 x 14.5 cm,
245 pp. (ペーパーバック)
Korimoto 1-21-30, Kagoshima City, 890-0065, Japan.
2017 年, ISBN 978-4-905464-09-9

(神戸大学内海域環境教育研究センター 鈴木雅大)